

事務事業実績測定調書

R5調書番号 467

事務事業名称	「なんでも、どこでも出前塾」実施事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2005 (H17) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	生涯学習活動をしたい者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市政等に関して学ぶ手段が少ない			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を提供することにより、市民が主体的に生涯学習活動ができている。				
事業概要	各施策担当課職員が市民団体に出向き、市政について等を説明する「職員による出前講座」と生涯学習に係る情報を市HP で発信する「学びの情報ひろば」を組み合わせた事業。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		市民が主体的に生涯学習活動ができる。	市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を手に入れることができる。	「職員による出前講座」を実施する。
指標設定	指標説明	満足度(実施報告書より) 実施報告書に満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」と回答した開催講座数／開催講座数×100】項目:「満足」「普通」「不満」	出前講座実施回数	出前講座メニュー数
		単位 %	単位 回	単位 件
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	80以上 80 80 80	140 140 140 140	120 120 120 120
	実績	96 96 93 98	28 60 135 147	121 125 122 124
達成度		123%	105%	103%

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民が主体的に生涯学習活動ができる。				市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を手に入れることができる。				「学びの情報ひろば」を実施する。			
指標設定 ②	指標説明	満足度(実施報告書より) 実施報告書に満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」と回答した開催講座数／開催講座数×100】項目:「満足」「普通」「不満」				HPアクセス件数				「学びの情報ひろば」HP掲載件数 (講師紹介件数＋登録団体件数)			
		単位 %				単位 件				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80以上	80	80	80	1,200	1,300	1,400	1,500	1,200	1,200	1,200	1,200
	実績	96	96	93	98	793	714	1,094	939	724	695	713	713
達成度		123%				63%				59%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.17
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,021	1,094	1,342		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,021	1,094	1,342		
	物件費計	9	19	18	10	180.0%
歳出計		1,030	1,113	1,360		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)		9	19	18	10	

5. 総括的分析

総括的分析	出前講座を通年実施することにより市民が主体的に学習するという環境を継続して整えていることにより、市民団体などにおいて積極的に出前講座を活用する傾向がみられ、出前講座の実施回数が増加し、目標値を達成した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を提供するため、本事業を継続実施する。また、「学びのひろば」については、より多くの生涯学習に関する情報を提供できるよう、引き続き努力する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 468

事務事業名称	ひらかた人形劇フェスティバル支援事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1990(H2)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	普段人形劇に触れる機会のない市民(保護者・子ども)			
	サブターゲット	市内や市外の人形劇団			
	ターゲットが抱える課題	普段人形劇に触れる機会がない			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ひらかた人形劇フェスティバルを通じて市民に人形劇の楽しさを味わってもらうことができている。				
事業概要	枚方人形劇連絡会、枚方市、指定管理者の3者で「ひらかた人形劇フェスティバル実行委員会」を組織し、毎年3月に「ひらかた人形劇フェスティバル」を開催している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		普段人形劇に触れる機会がない 市民に人形劇の楽しさを味わってもらう。				ひらかた人形劇フェスティバルに 市民が来場する。				ひらかた人形劇フェスティバルを 開催する。			
指標設定	指標説明	満足度(来館者より) アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数÷回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」				フェスティバルへの来場者数				フェスティバル開催数			
		単位 %				単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80以上	80	80	80	2,000	2,000	2,000	2,000	1	1	1	1
		実績	0	0	0	425	0	1,236	2,368	1	0	1	1
達成度		0%				118%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.07
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	550	519	1,056		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	550	519	1,056		
歳入	物件費計	0	0	1,763	2,004	88.0%
	歳出計	550	519	2,819		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	1,763	2,004	

5. 総括的分析

総括的分析	35周年にあわせ、夢基金を活用し、総合文化芸術センター小ホールにて人形劇フェスティバルプレフェスティバルを開催し、牧野生涯学習市民センターで行う本フェスティバルにおいても様々な企画を行い盛大に実施したことにより、来場者数が増加した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地域を巻き込んだPRを引き続き行い、地域の活性化とともに、人形劇事業及び生涯学習市民センターの認知度の向上を図り、街の魅力の一つとして発信していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 470

事務事業名称	生涯学習市民センター活動委員会事業									
測定年度	2023 (R5) 年度		部	観光にぎわい部		課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2007 (H19) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	生涯学習を行いたい市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民が学ぶ場、その成果を活用する場、つながりの場の環境を整える必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	市民とセンター職員が連携・協力して地域の特色を活かした生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行い、市民の生涯学習活動が推進されている。				
事業概要	市民とセンター職員で構成する活動委員会を、平成19年度から楠葉・さだ・御殿山・牧野・津田・菅原の各センターに、平成20年度からは南部生涯学習市民センターにも設置。地域の特色を生かした市民対象事業を実施してきた。活動委員会の構成は、市民からは①利用団体関係者、②地域活動に意欲のある者、③事業に関心のある者、④センター職員としている。指定管理者制度を導入している6施設（楠葉・津田・御殿山・菅原・さだ・牧野）においては、指定管理者から負担金20万円を支出し、活動委員として2名参加している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
		市民の生涯学習活動が推進される。				事業に市民が参加する。				市民とセンター職員が連携・協力して地域の特色を活かした生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行う。								
指標設定	指標説明		事業への参加率 【算出式: 参加者人数／募集人数×100】				活動委員会事業の参加者延べ人数				活動委員会事業の件数							
			単位		%				単位		人				単位		件	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
		目標 (見込み)	80以上	80	80	80	30,000	30,000	30,000	30,000	90	90	90	90				
		実績	75	90	87	80	1,963	4,212	14,962	15,324	21	50	70	82				
	達成度		100%				51%				91%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.46
再任用	0.85
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.08
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)			
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額 (参考) 予算執行率
歳出	人件費				
	正職員、再任用、任期付	7,005	6,363	7,914	
	会計年度任用職員	415	264	217	
	特別職非常勤	0	0	0	
	附属機関委員	0	0	0	
	人件費計	7,420	6,627	8,131	
	物件費計	200	200	200	200 100.0%
歳出計		7,620	6,827	8,331	
歳入	国庫支出金	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		200	200	200	200

5. 総括的分析

総括的分析	前年度と比較して、事業件数が増加し、それに伴い参加者数も増加したものの、コロナの影響が弱まり、募集定員が多い事業を展開したため、定員満了とならない事業もあり、参加率が低迷した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、各地域の特性を活かした事業や、市民の学びのきっかけとなるような事業に取り組んでいく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 471

事務事業名称	生涯学習事業												
測定年度	2023 (R5) 年度				部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名		17-3.生涯学習活動の支援										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2005 (H17) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立生涯学習市民センター条例、枚方市立生涯学習市民センター条例施行規則及び決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	生涯学習事業に興味のある市民。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民が学ぶ場、その成果を活用する場、つながりの場の環境を整える必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行い、市民の生涯学習活動が推進されている。				
事業概要	□生涯学習事業の推進 他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施している。 □生涯学習施設の運営 生涯学習市民センター(9施設)の利用運営を行い、生涯学習事業、活動委員会事業などの事業を実施している。 □枚方市生涯学習推進審議会運営事務 市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、平成18年4月に枚方市生涯学習推進審議会を設置。現在、審議会は学識経験者、関係市民団体等、計10人の委員で構成している。 □枚方市美術施設運営委員協議会運営事務 年3回協議会を開催し、市民ギャラリー、ふれあいホール、御殿山生涯学習美術センター及びびくずはアートギャラリーの企画展及び公募展の企画運営等、美術施設運営に関することについて、専門的な立場から意見をいただいている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民の生涯学習活動が推進される。				各種事業に市民が参加する。				各種事業を実施する。			
指標設定	指標説明	満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより) 【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数／回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」				生涯学習事業の参加者数				生涯学習事業の開催数			
	単位		%		単位		人		単位		回		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	80以上	80以上	80以上	80以上	2,500	3,900	3,900	3,900	55	95	95
	実績	51.99	51.40	54	44	341	1,944	2,717	2,560	20	76	102	92
	達成度	55%				66%				97%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	4.17
再任用	3.33
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	5.47
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	14.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	57,879	56,288	49,699		
	会計年度任用職員	15,540	16,946	14,815		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	190	171	200		
	人件費計	73,609	73,405	64,714		
	物件費計	14,912	22,112	15,312	18,484	82.8%
歳出計		88,521	95,517	80,026		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	2,005	1,763	3,195	12,461	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,005	1,763	3,195	12,461	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		12,907	20,349	12,117	6,023	

5. 総括的分析

総括的分析	未だ目標値とは隔離しているものの、今後も満足度の向上に努める。
-------	---------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。 また、生涯学習市民センターにおいて適切な施設運営がなされているかの確認を行う。 生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について、意見を求めるとともに、基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。 美術施設運営委員協議会においては、美術関連事業について、専門的見地から様々な意見・提言等をいただく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 511

事務事業名称	総合文化芸術センター施設維持管理業務									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	R3年度(2021年度)	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市総合文化芸術センター条例、枚方市総合文化芸術センター条例施行規則				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	総合文化芸術センターの利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	文化芸術芸術に触れたり、自ら発表したりする場が必要			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	総合文化芸術センターの利用者が安全に施設を利用できるよう、適切に施設の維持管理を行うことにより、文化芸術活動が活性化される。				
事業概要	令和3年春に竣工する総合文化芸術センター本館と、令和3年4月1日付で市民活動課より移管される総合文化芸術センター別館(旧:メセナひらかた会館)について、利用者が安全・安心して施設を利用できるよう、適切に維持管理を行う。 令和3年4月から指定管理者制度を導入し、令和3年度から令和6年度まではアートシティひらかた共同事業体(代表団体:サントリーパブリシティサービス㈱)が指定管理者として施設の管理・運営を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			総合文化芸術センターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明		修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検等実施回数			
				単位	%		単位	回		
	指標種類		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		-	100	100	100	-	92	495	495
	実績		-	99.20	66	56.62	-	86	612	713
達成度			143%				56%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.76
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,036	12,499	13,895		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,036	12,499	13,895		
	物件費計	503,626	589,809	638,421	707,119	90.3%
歳出計		512,662	602,308	652,316		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	89,113	136,062	136,079	99,190	
	市債	0	0	31,200	52,500	
	その他	76	0	10,284	17,629	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	89,189	136,062	177,563	169,319	
一般財源（物件費に充当されるもの）		414,437	453,747	460,858	537,800	

5. 総括的分析

総括的分析	総合文化芸術センターは、市民会館に代わるまちの価値を高め集客と賑わいを創出する新たな文化芸術拠点として令和3年8月に開館し、令和5年度は年間100本程度の事業を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	○指定管理者制度による運営を行う施設における業務の執行状況等について、モニタリングなどを通じた適切な把握・指導・監督に努めていく。 ○本館の改修・修繕は、市有建築物保全計画改定の際に今後の方針を策定する。 別館の改修・修繕は、市有建築物保全計画に即して実施している。施設の現状を踏まえ、計画的に補修等を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 544

事務事業名称	ひらかた市民大学開催事業												
測定年度	2023(R5)年度				部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名		19-2.産学公連携の推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2005(H17)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	生涯学習を行いたい市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民が学ぶ場、その成果を活用する場、つながりの場の環境を整える必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内5大学との連携・協力により特色ある各大学の専門的な知識・情報を生かして学習できる講座を市民に提供することで、多様化・高度化する市民の学習意欲に応えることができているとともに、それが生涯学習の推進・生きがいの増進につながっている。				
事業概要	学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市と大学が連携し、市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。専門的な知識・情報を提供する講座を市内5大学においてそれぞれ1講座実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		生涯学習の推進・生きがいの増進につながる。	「ひらかた市民大学」に市民が参加する。	「ひらかた市民大学」を開催する。
指標設定	指標説明	満足度(アンケートにより) アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」「やや満足」と回答した人数/回答者人数×100】 項目:「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の項目で「満足」「やや満足」	「ひらかた市民大学」の参加者数	「ひらかた市民大学」の開催数
		単位 %	単位 人	単位 回
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	90以上 90 90 90	200 200 200 200	5 5 5 5
	実績	93.48 82.84 76 90	101 189 182 286	2 5 5 5
達成度		100%	143%	100%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.23
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,807	1,797	1,816		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,807	1,797	1,816		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		1,807	1,797	1,816		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	昨年度に引き続き5大学すべて実施することができた。市民から関心の高い健康に関する講座を実施したことにより、満足度及び参加者数が増加した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	より多くの市民が、参加できるよう、各大学の特徴を活かした事業展開を行い、市民と大学との距離を縮め、街の魅力として発信していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 545

事務事業名称	子ども大学探検隊事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名		19-2.産学公連携の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内小学生			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市内の小学生が市内5大学について認識していない			
	ターゲットが抱える課題	将来の夢を育む多様なきっかけが必要			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	参加者が大学に親しみを感じ、将来への夢を育むことができている。				
事業概要	学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市内大学の施設・設備やクラブ活動等への参加体験をする「子ども大学探検隊」事業を実施する。小学生(高学年)対象。市内5大学のうち毎年希望する大学において実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		参加者が大学に親しみを感じ、将来への夢を育むことができる。				「子ども大学探検隊」事業に子どもが参加する。				「子ども大学探検隊」事業を実施する。			
指標設定	指標説明	満足度(アンケートにより) アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「とても良かった」「良かった」と回答した人数/回答者人数×100】項目:「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」				「子ども大学探検隊」の参加者数				「子ども大学探検隊」の開催数			
		単位 %				単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	90以上	90	90	90	250	250	250	250	5	5	5	5
	実績	0	91.04	93.67	93	0	69	81	198	0	2	4	5
達成度		103%				79%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.23
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,807	1,797	1,816		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,807	1,797	1,816		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		1,807	1,797	1,816		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり、令和4年度は5大学中4大学実施可能だったものが令和5年度に関しては5大学で実施可能となり、参加人数が増加した。内容に関しては、各大学の特色を活かした、子どもたちが興味のあるテーマで事業を展開し、高い満足度を維持している。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	実施に際しては、より多くの子どもたちが、安心・安全に参加できるよう、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行いつつ、各大学の特色を活かした事業を行い、市民周知に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 710

事務事業名称	生涯学習市民センター維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2006 (H18) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	建築基準法、消防法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律、電気事業法				
関係補助金名称	Osaka Free Wi-Fi設置促進事業補助金		サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	生涯学習市民センター利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題				
	ターゲットが抱える課題	生涯学習施設の利用者が、安全で快適に利用できるように施設設備の修繕や保守点検を実施する必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生涯学習施設の利用者が、安全・快適に利用ができている。				
事業概要	□生涯学習施設管理 市内9箇所の生涯学習市民センター施設の清掃、空調設備・防災設備・電気設備・自家発電・エレベーター等の保守点検、夜間・休日の警備等の委託。施設の老朽化等に伴う修繕改修等の実施。 枚方市立生涯学習市民センター(全9施設)・楠葉生涯学習市民センター(枚方市楠葉並木)・サンプラザ生涯学習市民センター(枚方市岡東町)・さだ生涯学習市民センター(枚方市北中振)・御殿山生涯学習美術センター(枚方市御殿山町)・牧野生涯学習市民センター(枚方市宇山町)、牧野生涯学習市民センター牧野北分館(枚方市牧野北町)・津田生涯学習市民センター(枚方市津田北町)・菅原生涯学習市民センター(枚方市長尾元町)・南部生涯学習市民センター(枚方市香里ヶ丘)・生涯学習情報プラザ(枚方市車塚) [主な諸室] 集会室、料理室、ホール等 □市所蔵美術工芸品の適正管理 所蔵する美術工芸品の状態を把握するとともに、美術作品の適正管理を行う。 □各種基金実施事業 ・「枚方市植村猛アート基金」を活用し、本市の美術事業の充実を図る。 ・「枚方市大東清四美術品管理基金」を活用し、本市が所有する美術品等の継続的な保管・管理を行う。 【変更等の内容】 □生涯学習施設管理 市内の生涯学習市民センター(全9施設)のうちWi-Fi設備が導入されていない2施設について、ロビー等にWi-Fi設備を導入して利用者がロビー等を快適に利用できるようにする。なお、設置にあたっては府補助金事業を活用していく。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						生涯学習市民センターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				臨時休館日(改修工事や保守点検、天災等を除く突発的な休館日数)			
							単位	%			単位	日	
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	0	0	0	0
	実績					70	92.30	157	80		0	6	0
達成度						120%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.26
再任用	0.65
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	12,221	17,936	21,117		
	会計年度任用職員	2,391	85	542		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,612	18,021	21,659		
歳出	物件費計	487,354	518,425	602,556	681,821	88.4%
	歳出計	501,966	536,446	624,215		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	32,456	41,097	44,090	48,224	
	市債	0	0	89,200	109,100	
	その他	52	70	12,980	38,111	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	32,508	41,167	146,270	195,435	
一般財源(物件費に充当されるもの)		454,846	477,258	456,286	486,386	

5. 総括的分析

総括的分析	計画どおりに改修工事や保守点検が実施され、適正な維持管理ができた。
-------	-----------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	○生涯学習市民センターの改修・修繕は、市有建築物保全計画に即して実施している。施設の現状を踏まえ、計画的に補修等を行っていく。 ○指定管理者制度による運営を行う施設における業務の執行状況等について、モニタリングなどを通じた適切な把握・指導・監督に努めていく。 ○引き続き、中央図書館資料室で保管している市所蔵美術工芸品の状態を把握するとともに、適正管理を行う。 ○基金については、本市の美術施策の充実並びに美術品等の継続的な保管・管理のために活用する。

事務事業名称	市民企画イベント促進事業												
測定年度	2023 (R5) 年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006 (H18) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市市民企画イベント促進事業実施要綱				
関係補助金名称	市民企画イベント促進事業補助金		サンセット	2022 (R4) 年度	～ 2024 (R6) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内において、文化芸術の振興に資すると認められる事業を実施しようとする者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	資金不足、広報力の不足、会場確保の確保が困難であるということ。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民(団体)が、企画実施した文化芸術事業に多くの市民が参加できている。				
事業概要	市内において、文化芸術の振興に資すると認められる事業を実施しようとする者に対して、事業に要する経費に対する補助等の支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		文化芸術事業に多くの市民が参加している。				市民の手によって文化芸術の振興につながる事業が実施される。				市民企画イベント促進事業補助金を交付する。				
指標設定	指標説明	各事業の参加者数の合計				支援決定団体が実施した事業数				支援決定団体数				
	単位		人		単位		事業		単位		団体			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	150	150	150	150	3	3	3	3	3	3	3	3
		実績	24	9,291	5,237	884	1	5	4	9	1	6	3	4
達成度		589%				300%				133%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.13
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,807	1,797	1,026		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,807	1,797	1,026		
	物件費計	538	565	846	919	92.1%
歳出計		2,345	2,362	1,872		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		538	565	846	919	

5. 総括的分析

総括的分析	本事業については、予算額が90万円で、1団体の補助対象上限金額が30万円で3団体を支援することを想定している。 令和5年度については、市民企画イベント促進事業審査委員会の結果に基づき、4団体に対して施設確保、広報支援、資金補助を行い、延べ884人の参加者があった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	これまでの取組を継続する。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 721

事務事業名称	文化芸術振興費補助事業(文化芸術創造拠点形成事業)									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名	17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2019(R1)年度		年度	～	2023(R5)年度 年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	文化芸術振興費補助金(文化芸術創造拠点形成事業)		サンセット	～	
関係附属機関名称	文化芸術振興審議会				
事業対象	メインターゲット	枚方市内で文化芸術を鑑賞する機会を求めている市民や文化芸術活動を行っている市民・市民団体等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	枚方市内で文化芸術の鑑賞機会がない、または発表の場がない			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市内で文化芸術を鑑賞する機会を求めている市民や文化芸術活動を行っている市民・市民団体等に鑑賞の場や発表の場を提供することにより、市民の文化芸術に対する満足度が向上している				
事業概要	本市は、令和3年10月の開館を目指して、総合文化芸術センターを建設中である。センターには、多目的に使える大ホール(1468席)・小ホール(325席)、舞台や客席の自由度が高いイベントホールのほか、美術ギャラリーなども備えていることから、この施設を、人々が集い、交流する、文化芸術と賑わいの拠点施設として活用することを考えている。 事業の実施にあたり、芸術家、芸術団体、文化団体、学校、地域などと連携することで、優れた事業を効果的に実施する好循環を作る。センター開館までは文化芸術への関心が高まる取り組みを中心に実施し、センター開館後は拠点施設を核として文化芸術を通じた経済波及効果が高まるよう、施設の機能を最大限に生かし、市外からも人が集まるような発信力のある取り組みも行う。また、このような効果を生むことで、市民が誇れる文化芸術拠点施設を形成する。 事業の実施にあたっては、文化庁の補助金「文化芸術振興費補助金(文化芸術創造拠点形成事業)」を獲得して、事業を実施する。この補助金の交付上限が最長5年間であるため、補助対象規範は平成31年度から令和5年度までが交付対象期間となる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		文化芸術に対する市民の関心及び理解が深まる。				事業の実施により、身近に文化芸術に触れる機会が作られる。				補助金を獲得し、事業を実施する。			
指標設定	指標説明	参加者の満足度 アンケート結果で肯定的評価を行った回答率の事業平均 【算出式:とても良い又は良いと回答した数/全回答数×100】				対象事業の参加者数				補助金の対象事業数			
		単位				単位				単位			
		%				人				事業			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80	80	85	85	7,660	7,660	10,000	10,000	52	0	5	5
	実績	90	-	95	91.40	2,200	12,088	14,491	15,177	41	9	5	5
	達成度	108%				152%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.82
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	8.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	16,107	19,530	14,369		
	会計年度任用職員	0	0	1,626		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	48	200		
	人件費計	16,107	19,578	16,195		
歳入	物件費計	19,124	31,562	32,852	33,695	97.5%
	歳出計	35,231	51,140	49,047		
	国庫支出金	2,400	11,551	10,466	1,607	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,400	11,551	10,466	1,607	
一般財源（物件費に充当されるもの）		16,724	20,011	22,386	32,088	

5. 総括的分析

総括的分析	市民総合文化祭のほか、小学校6年生を対象としたコミュニケーション授業や小学校5・6年生を対象とした小学校アウトリーチ事業、中学校1年生を対象とした中学校オーケストラ鑑賞事業、小中学生を対象にした将棋イベントや中高生を対象としたジュニアプラスバンド事業を実施した。 事業全体としては、6事業を実施することで15,177人の参加があったことにより、鑑賞の場や発表の場の提供ができた考える。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	総合文化芸術センターの指定管理者と連携を図り、事業を実施していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 914

事務事業名称	文化生涯学習課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外							
	施策目標		99.施策体系外							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	文化生涯学習課職員。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	直営施設と指定管理施設があり、それぞれの管理運営を理解したうえで事務を執行する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	事務を滞りなく処理できている。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.03
再任用	0.07
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	13,722	18,794	16,380		
	会計年度任用職員	844	0	1,084		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,566	18,794	17,464		
歳入	物件費計	1,000,495	346	1,496	2,675	55.9%
	歳出計	1,015,061	19,140	18,960		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	4	4	5	5	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	4	4	5	5	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,000,491	342	1,491	2,670	

5. 総括的分析

総括的分析	課の運営に必要な事務について、適切に処理した。
-------	-------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も課の運営が円滑に行われるよう、適切に事務を処理していく。